

研究タイトル	<b>高校生のボランティア参加を促進する街づくりオンラインゲームの提案</b> <b>オープンデータで見る東京都の高校生のボランティア離れと妥当性の評価</b>
要旨	<p>本研究は、東京都の高校生のボランティア活動行動者率を上げることが目的である。東京都のボランティア活動行動者率は 15.8% であり、全国平均の 18.3% を下回っている。中でも若年層のボランティア活動行動者率の低迷が顕著であり、約半数がボランティア活動に意欲を示さないと回答している。一方、青少年のインターネット利用時間は年々増加しており、ゲームに対する関心が高いことが分かっている。そこで、筆者らは東京都の高校生を対象とした街づくりオンラインゲームを提案する。東京都の中学校・高等学校に導入することでボランティア活動を行うきっかけを提供する。ゲームによるボランティア参加のモチベーション向上とその習慣化を狙いとし、自主的にボランティア活動に取り組む行動の定着を目指す。活動経験の蓄積を可視化し、仮想の街の発展という形で反映する仕組みはボランティア活動への心理的なハードルを下げ、継続的な参加を促進できると考えられる。</p>